

証拠説明書4

静岡地方裁判所 民事2部合議係 御中

平成25年11月14日

原告ら訴訟代理人 弁護士 鈴木 敏 弘

弁護士 河 合 弘 之

外

(甲B号証 原子力発電所の自然的立地条件(地震, 地盤, 津波, 液状化等)に関するもの)

甲B号証	表題	作成者	作成(発行)年月日	原本/写しの別	頁	項目	立証要旨	立証趣旨	URL	備考
37	南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告) 津波断層モデル編 一津波断層モデルと津波高・浸水域等について一	南海トラフの巨大地震モデル検討会	平成24年8月29日	写し	全		津波	トラフ軸近くの超大すべり域で発生した特に大きな津波がそれぞれの海岸に襲来するまでに要する時間は、駿河湾の沿岸地域のようにトラフ軸が直ぐ傍にある地域では、地震発生から数分後には5mを越える津波が襲来するとされていること		乙B第39号証と同一
38	「津波災害-減災社会を築く」(抜粋) [表紙, 奥付, 16~17, 57~95頁]	河田恵昭 (岩波新書)	平成22年12月17日	写	16~17頁	第1章 津波は恐ろしい	津波の性質	津波は「高い波」ではなく「速い流れ」であるため、津波が護岸や防波堤防にぶつかった瞬間、津波の運動エネルギーがゼロになり、これが瞬時に位置エネルギーに変換され、海面が盛り上がる。理論的には衝突前の1.5倍位に高くなる、とされていること		既出の甲B15資料につき、仮処分事件提出部分と統一したもの
					57~65頁	第2章津波災害はくり返す 1 津波のメカニズム	津波	「津波は、波というよりは流れと考えた方が、その挙動を正しく理解できる」(57頁)とされていること。防波堤を超えた水塊により、防波堤の脚部が激しく洗われ、下手をすると海底の洗掘が発生し、防波堤が横倒しになってしまうことが起こるとされていること(58頁)。「防波堤があると、海底から海面までほぼ水平に運動している水粒子が前に進めなくなり、前述のように、これが位置エネルギーに変換され、津波の高さが約1.5倍高くなる。」(62頁)とされていること。		
					65~78頁	第2章津波災害はくり返す 2 変形する津波	津波	津波が変形するメカニズム 津波の「屈折」「回折」のメカニズム		
					78~86頁	第2章津波災害はくり返す 3 くり返す津波災害	津波	津波災害がくり返されていること等		
					86~95頁	第2章津波災害はくり返す 4 日本の津波常襲地帯	津波	津波の常襲地帯では津波被害が桁違いに大きくなる上、歴史的に津波災害が繰り返し起こっていること等		

甲B 号証	表題	作成者	作成(発行)年月日	原本/写 しの別	頁	項目	立証要旨	立証趣旨	URL	備考
39	「津波から生き残る」(抜粋) [表紙, 奥付, 6, 16~17 頁, 24~27頁]	土木学会	平成21年11月13日	写	6頁 16~ 17頁 24~ 27頁	津波		津波に巻き込まれたら逃げられない理由等(16~17頁) 津波の進行方向に半島や岬などの地形(障害物)がある と、それを回り込んだ裏側で水位が異常に高くなる場合が ある(回折現象)(24~25頁) 津波が河川を遡上することがあること(25~26頁) 津波は地形によって思わぬところからやってくるがある こと(27頁)		既出の甲B16資 料につき、仮処分 事件提出部分と 統一したもの
40	「超巨大地震に迫る一日 本列島で何が起きている のか」(抜粋) [表紙, 奥付, 62~69頁, 122~127頁, 134~137頁]	大木聖子 瀬瀬一起	平成23年6月10日	写	63~ 68頁 123~ 127頁 135~ 136頁	地震		従前のアスペリティモデルでは、東北地方太平洋沖地震 が起きた日本海溝の沈み込み帯は、マグニチュード7から 8程度の地震の震源域に対応するようなセグメントに分割 され、複数のセグメントが連動し、超巨大地震になることは 稀である、とされていたこと(123~125頁) 地震学者は、複数のセグメントが連動して超巨大地震を 起こすことはないと考えていた日本海溝の沈み込み帯で 超巨大地震が起きたことにより、「科学の限界」を悟ること になったこと(127頁) 原子力発電所における地震防災対策のあり方は、日本全 体の既往最大に備え、さらには、世界中の既往最大に備 えるという思考を取るべきであること(135~136頁)		準備書面5 41.42頁 既出の甲B32資 料につき、仮処分 事件提出部分と 統一したもの